

# 脱毛症について

皮膚科

髪

の悩みは男女を問わず多いものですが、今回は脱毛症についてお話ししましょう。

一口に脱毛症と言っても様々なタイプがあります。多いものでは①円形脱毛症、②男性型脱毛症などで、他にも③抜毛症や④症候性脱毛症（身体的な他の疾患に併発するもの）などがあります。

①は自覚症状が特になく、ある日突然円形の脱毛斑に気づくもので、2～3個多発することもあります。普通は数ヵ月で発毛しますが、稀に短期間のうちに全頭に進行したり、眉毛やまつ毛、陰毛までも脱落する汎発型に移行したりする重症例もあります。自己免疫異常が関与しているという説が有力です。

②は加齢とともに進行する額の拡大や頭頂部の脱毛がみられ、この場合脱毛部にうす毛を伴うのが特徴で、病的なものではなく生理的現象とされています。

③は患者自身が毛髪を引き抜く行為を意識的または無意識的に繰り返すもので、子供に多くみられる神経性習癖の一つです。心理的なストレスが関与している場合があり、心理相談などを必要とすることがあります。

④には内分泌機能異常や薬剤性、栄養・代謝障害など様々な身体疾患に伴う脱毛が含まれます。中でもよく見られるのが身体的要因（高熱、出産、外傷や手術など）により生理的な抜け毛の量が増える状態です（生理的な抜け毛は正常で1日およそ100本と言われます）。分娩後などは3～4ヵ月後に脱毛を生じることが多く、その後3～6ヵ月で回復すると言われていています。毛周期の一時的な遷延が起因していると考えられます。

脱毛の原因をまず見極め、適切な対応をとることが大切です。心配な方は皮膚科で一度診察をお受けになるとよいでしょう。

梶山 理嘉



皮膚科・小児科  
**多摩ガーデンクリニック**  
東京都多摩市落合1-35 ライオンズ多摩センター3F

予約・お問い合わせ  
**042-357-3671**

※皮膚科と小児科では診療時間及び受付時間が異なります。詳しくは受付・電話にてご確認ください。